

## 全日本トランポリン競技年齢別選手権大会における予選第1自由演技の特別要求

各年齢別部門においては、特別要求を含む第1自由演技と第2自由演技(難度点を加算する)にて構成される。

- 11-12才、13-14才、15-16才の部は、第1自由演技の難度点は算入されない。要求種目は第2自由演技で実施しても難度は算入される
- 17才以上の部はシニアルールのため、\*印をつけた2種目の難度は算入される

### 11-12才の部

第1自由演技は異なる10種目で構成され、うち2種目は270度未満の宙返り種目(注:難度が0.3点未満の種目、フィートバウンスも含む。但し、異なる種目でなければならない※下線部審判本部注記)を使用することができる。以下に示す特別要求を満たす種目には競技カードに(\*)印を付けなければならない。

また、特別要求は1つの種目で2つ以上の要求要素を満たすことはできない。

- 1つの腹落ちで着床する種目
- 1つの背落ちで着床する種目

### 13-14才の部

第1自由演技は異なる10種目で構成され、うち1種目は270度未満の宙返り種目(注:難度が0.3点未満の種目、フィートバウンスも含む)を使用することができる。以下に示す特別要求を満たす種目には競技カードに(\*)印を付けなければならない。

また、特別要求は1つの種目で2つ以上の要求要素を満たすことはできない。

- 後方1回宙返り1回ひねり(4 2 /)
- 1つの腹落ちで着床する種目
- 1つの背落ちで着床する種目

### 15-16才の部

第1自由演技は異なる10種目で構成され、うち1種目は270度未満の宙返り種目(注:難度が0.3点未満の種目、フィートバウンスも含む)を使用することができる。以下に示す特別要求を満たす種目には競技カードに(\*)印を付けなければならない。

また、特別要求は1つの種目で2つ以上の要求要素を満たすことはできない。

- 後方1回宙返り1回ひねり(4 2 /)
- 前方1回宙返り1回半ひねり(ルドルフ)もしくは前方1・1/4宙返り1回半ひねり(ルディボールアウト)
- 1つの背落ちまたは腹落ちで着床する種目

### 17才以上の部(シニアルール)

本大会の17才以上の部は、世界年齢別トランポリン競技選手権大会における予選第1自由演技の特別要求ではなく、シニアルール(FIG競技大会第1自由演技)を採用する

FIG競技大会第1自由演技における要求

1. それぞれ最低270度(3/4回)の宙返りを伴う、異なる10種目からなる演技であること
2. 競技カードに\*印をつけた2種目は、難度点を伴うものであること。その難度点は演技点に加算され、第1自由演技の合計得点が算出される
3. これらの2種目は予選の第2自由演技において繰り返し行うことはできない。もし繰り返した場合は難度点に算入されない